

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書	
令和 2025 年 6 月 30 日	
京都府知事 様	
	提出者 住 所 大阪府大阪市西区江戸堀1丁目8-14 肥後橋SKビル 氏 名 株式会社日比谷アメニス大阪支店 支店長 堤 浩之 (法人にあつては、名称及び代表者の氏名) 電話番号 06-6441-6041
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	株式会社日比谷アメニス大阪支店
事業場の所在地	大阪府大阪市西区江戸堀1丁目8-14肥後橋SKビル
計画期間	2025年4月1日 ～ 2026年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	06 総合建設業
② 事業の規模	20億円
③ 従業員数	24名
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	がれき類・・・再生処理業者に委託して再生骨材として再資源化 木くず・・・処理業者に委託して燃料チップ等に再生化 混合廃棄物・・・処理業者に委託して最終処分(埋立) 廃プラスチック・・・処理業者に委託して最終処分(埋立)

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

別紙管理体系図のとおり

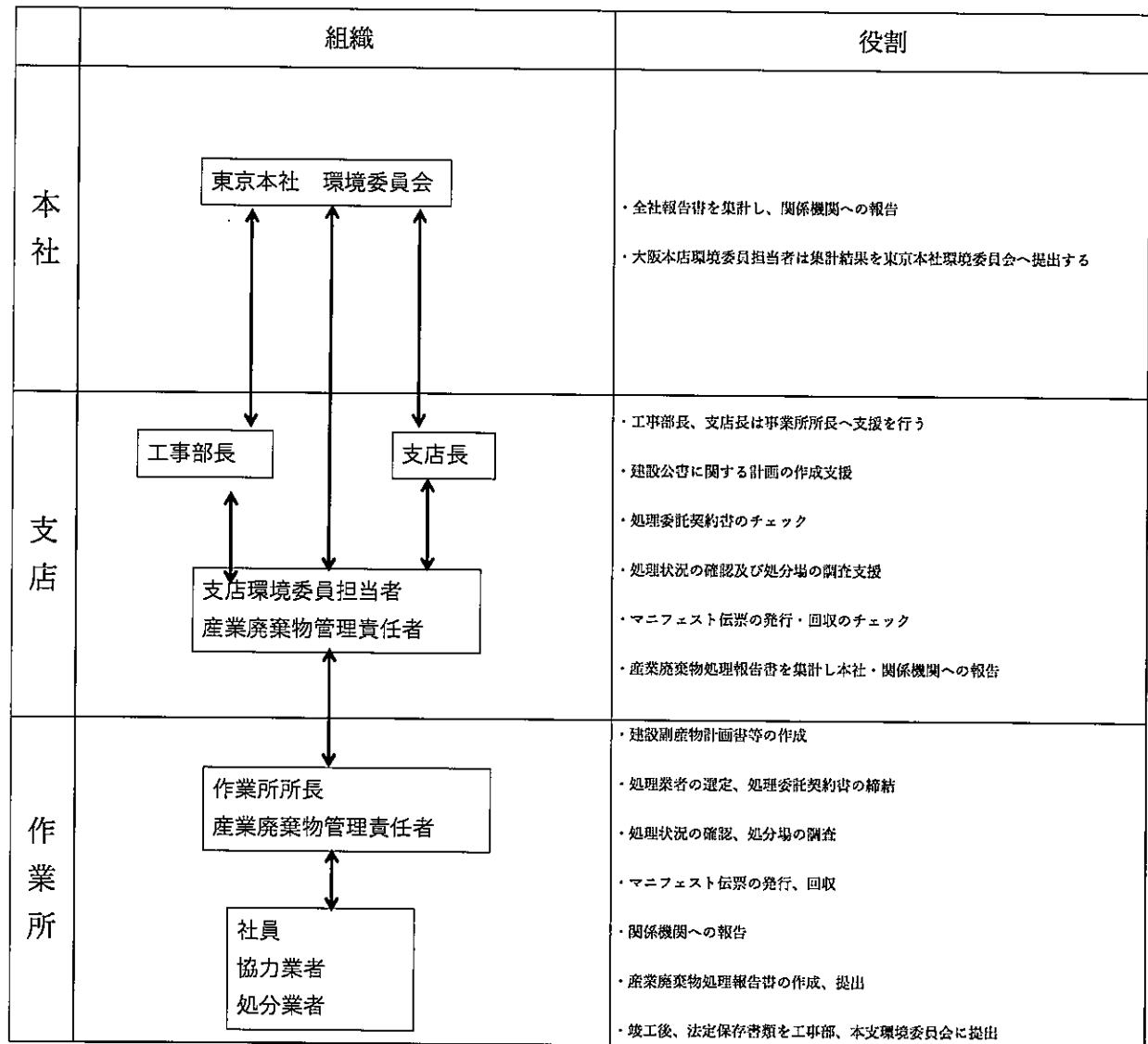
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（ 6 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	排 出 量	t	t
	（これまでに実施した取組） 余剰材の引取り（木くず等）		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	排 出 量	t	t
	（今後実施する予定の取組） がれき類、木くずについて他の廃棄物（現場発生土等）に混入しないよう確実に分別保管をおこなう。		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） がれき類、木くずについて他の廃棄物に混入しないよう確実に分別保管をおこなう。
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 上記に加え他の品目に関しても同様に分別を徹底する。

別紙：産業廃棄物の処理に係わる管理体制
責任者及び管理組織図



注： → 指示連絡系統

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項 【該当なし】

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項 【該当なし】

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項 【該当なし】

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状	【前年度（ 6 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	全 処 理 委 託 量	t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	別紙のとおり	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(これまでに実施した取組) 委託基準に従って、産業廃棄物を委託できる業者を選定し、書面による契約を実施及び優良業者委託の検討。		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	別紙のとおり	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組) ・再生資源の現地利用及びその工法の検討 ・分別の徹底による再生化率向上 ・現場発生土の場内利用		
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

【別紙】産業廃棄物の排出に関する事項

	(前年度(令和6年度)実績)					
①現状	産業廃棄物の種類	1501 がれき類	0811 木屑	0600 廃プラスチック	2200 混合廃棄物	1502 がれき類
	排出量	744 t	308t	2.8t	2.08 t	80t
②計画	産業廃棄物の種	1501 がれき類	0811 木屑	0600 廃プラスチック	2200 混合廃棄物	1502 がれき類
	排出量	50t	10t	9t	7.5t	10t

【別紙】産業廃棄物の処理の委託に関する事項

	(前年度(令和6年度)実績)					
①現状	産業廃棄物の種類	1501 がれき類	0811 木屑	0600 廃プラスチック	2200 混合廃棄物	1502 がれき類
	全委託量	744t	308t	2.8t	2.08t	80t
	優良認定処理業者への処理委託量	0	308t	0	0	0
	再生利用業者への処理委託量	744t	0	2.8t	2.08t	80t
	認定熱回収業者への処理委託量	0	0	0	0	0
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0	0	0	0	0
②計画	産業廃棄物の種類	1501 がれき類	0811 木屑	0600 廃プラスチック	2200 混合廃棄物	1502 がれき類
	全委託量	50t	10t	9t	7.5t	10t
	優良認定処理業者への処理委託量		10t			
	再生利用業者への処理委託量	50t		9t	7.5t	10t
	認定熱回収業者への処理委託量					
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量					